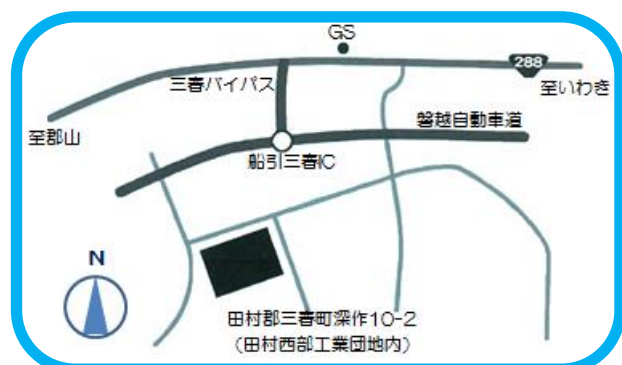


“ふくしま”の環境回復・創造のために 環境創造センター

環境創造センターは環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点施設として、より安心して快適に暮らせる“ふくしま”にするための取組を進めていきます。

平成27年10月本館開所

(交流棟・研究棟完成後の平成28年度に
グランドオープンを予定)



ア ク セ ス

- ▼お車をご利用の場合
磐越自動車道船引三春ICより約5分
- ▼電車をご利用の場合
JR三春駅より車で約12分
JR要田駅より車で約7分

お問い合わせ 福島県環境創造センター総務企画部 福島県田村郡三春町深作10-2
TEL : 0247-61-6111 FAX : 0247-61-6119



1 モニタリング

空間線量や放射性物質のきめ細やかで継続的なモニタリングを行うとともに、緊急時におけるモニタリング体制を整え、緊急時の対応に当たります。



2 調査研究

放射線計測、除染・廃棄物、環境動態、環境創造について調査研究を優先度に応じて計画的、体系的に進め、適時・的確にその成果を活用していきます。



3 情報収集・発信

関係情報を収集整理し、県民等が分かりやすい形で活用できるような情報発信体制の整備を進めるとともに、世界が注目する知見や経験を国際的に共有するための積極的な情報収集・発信を行います。



4 教育・研修・交流

福島県の環境の現状や放射線に関する正確な情報を伝え、本県の未来を創造する力を育むための教育・研修・交流に取り組みます。また、大学等と連携した長期にわたる人材育成に貢献します。

研究棟

- ・ 日本原子力研究開発機構(JAEA)及び国立環境研究所(NIES)が入居

本館

- ・ 福島県が入居



交流棟（愛称 コミュタン福島）

- ・ ふくしまの環境を知り、創り、発信する展示エリア、国際会議・学会・シンポジウム等を開催する会議室エリア及び管理エリアより構成
- ・ シアターでの映像や企画展示は、国立科学博物館と連携・協力

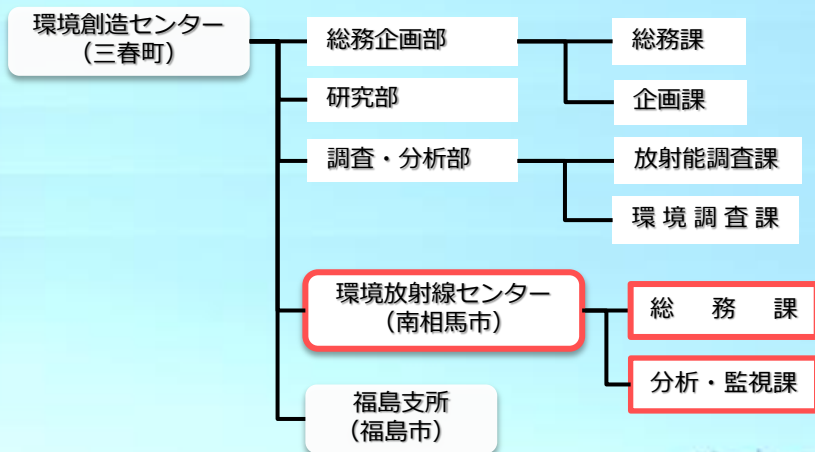


環境放射線センター

平成27年11月16日開所

環境放射線センターでは
原子力発電所周辺のモニタリングや空間放射線の常時監視
を行います。

環境創造センターの組織体制



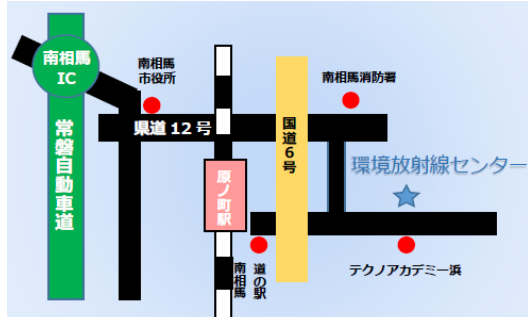
お問い合わせ

福島県環境創造センター環境放射線センター

(福島県南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169)

TEL: 0244-32-0800 (総務課)

FAX: 0244-32-0809



環境創造センターの事業方針

環境創造センターは、環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点として整備を進めています。

環境放射線センターでは、主に原子力発電所周辺地域のモニタリング機能を担います。



モニタリング

空間線量や放射性物質のきめ細やかで継続的なモニタリングを行うとともに、緊急時におけるモニタリング体制を整え、緊急時の対応に当たります。



調査研究

放射線計測、除染・廃棄物、環境動態、環境創造について調査研究を優先度に応じて計画的、体系的に進め、適時・的確にその成果を活用していきます。



情報収集・発信

関係情報を収集整理し、県民等が分かりやすい形で活用できるような情報発信体制の整備を進めるとともに、世界が注目する知見や経験を国際的に共有するための積極的な情報収集・発信を行います。



教育・研修・交流

福島県の環境の現状や放射線に関する正確な情報を伝え、本県の未来を創造する力を育むための教育・研修・交流に取り組みます。また、大学等と連携した長期にわたる人材育成に貢献します。

施設概要

連携



(仮称)浜地域農業再生研究センター



環境放射線センター



福島県南相馬原子力災害対策センター

連携

校正棟（環境放射線センター別棟）

放射線計測機器が正確に放射線量を測定するために必要な、“校正”を行う施設です。



校正



空間線量率計



個人線量計

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 (JAEA) 福島環境安全センター



環境放射線センターに入居し、放射線の遠隔計測技術やモニタリング技術の開発を行います。



無人航空機モニタリング



無人ヘリコプターモニタリング